

# お住まいの再建意向に関するアンケート調査

(結果速報)

平成 30 年 12 月

総 社 市

# 調査概要

## ■調査目的

被災者の皆様の生活や住宅の再建に向けた意向等を把握し、被災者のお住まいの再建を優先して支援していくための参考とすることを目的とします。

## ■調査方法

① 対象者	被災した市民（世帯主）452名、罹災台帳より抽出
② 調査方法	郵送により調査票を配布・回収
③ 調査期間	平成30年11月21日～平成30年12月3日（14日間）

## ■回収状況

配布数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)
452 (下原 168、昭和 229、その他 55)	287	63.5%

### 【報告書中の表記について】

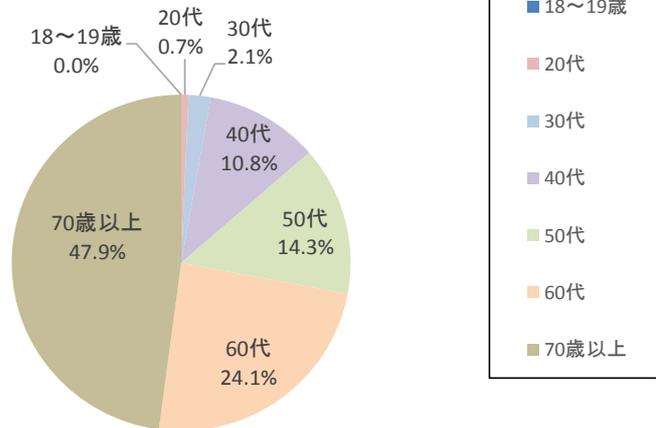
- ・表やグラフの割合「%」は、未記入などの「不明」「非該当」を除いた回答者数に対する割合を示しています。
- ・回答者の割合（%）は、小数点以下第2位を四捨五入した数値としています。そのため、各回答の合計が100.0%にならないことがあります。
- ・複数回答の設問では、回答数を示しております。

# I. あなた自身の状況についてお伺いします

問1 あなた自身のことについて、ご記入ください。

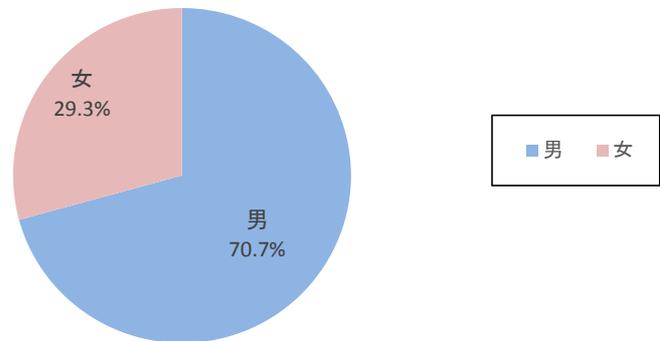
## ① 年代 (n=286)

回答者の約7割が60代以上の高齢者となっている。



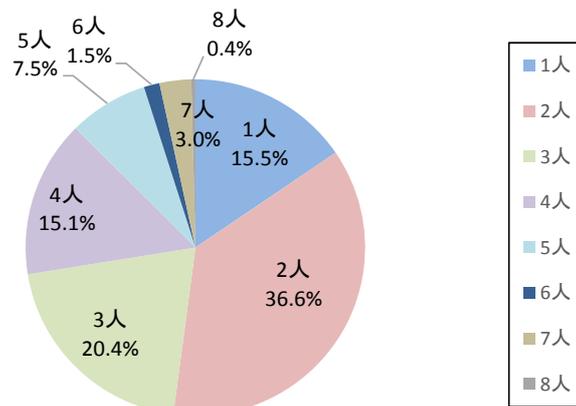
## ② 性別 (n=287)

回答者のうち、男性が約70%、女性が約30%となっている。



## ③ 世帯人数 (n=265)

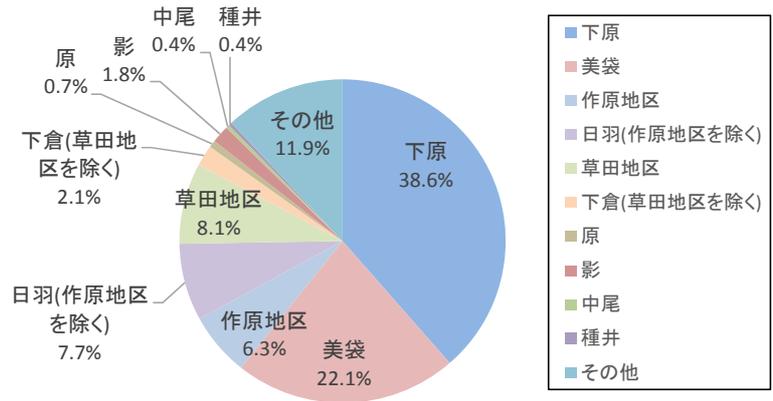
回答者のうち、「2人世帯」が最も多く36.6%、次いで「3人世帯」20.4%、「1人世帯」15.5%となっている。



問2 災害発生時のお住まいについて、当てはまるものを1つ選んでください。

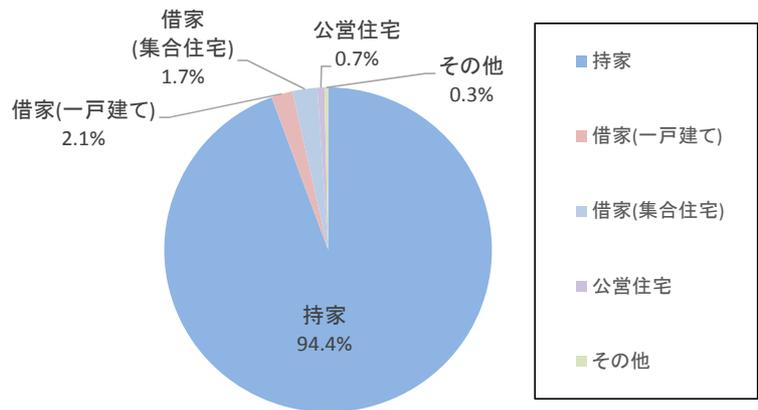
① 地区 (n=285)

回答者の住所地区は、「下原」地区が最も多く 38.6%、次いで「美袋」(22.1%)、「草田地区」(8.1%)となっている。



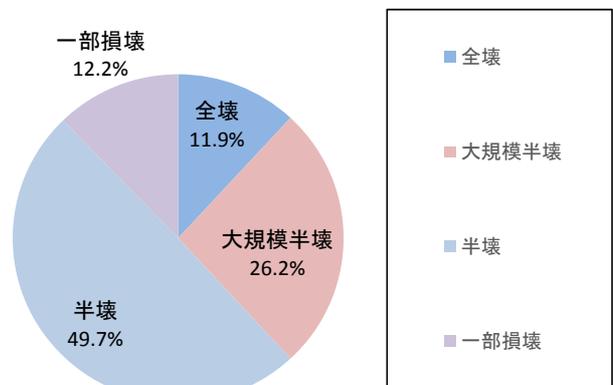
② 住宅区分 (n=286)

回答者の9割以上が「持家」である。



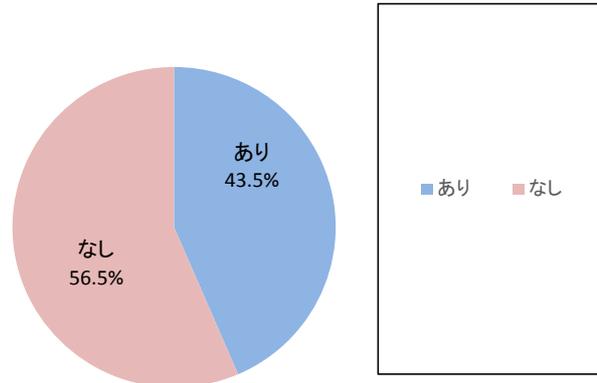
③ 被災区分 (n=286)

回答者の約半数が「半壊」の被害を受けている。



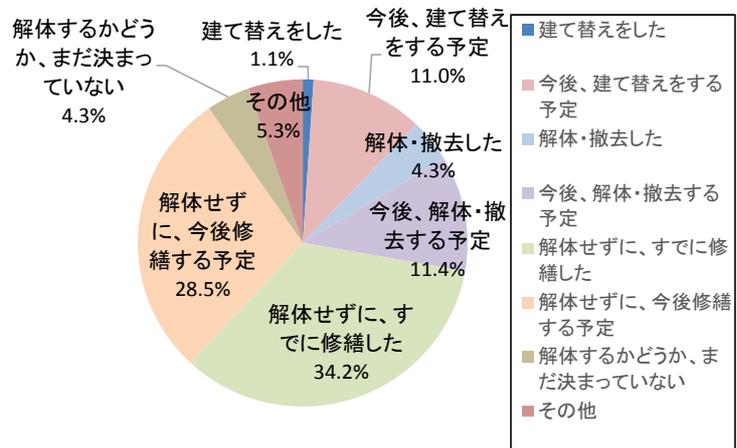
④ アルミ工場爆発被害 (n=278)

回答者のうち約4割の方がアルミ工場爆発被害を受けている。



問3 被災した住宅の現在の状況について、当てはまるものを1つ選んでください。(n=281)

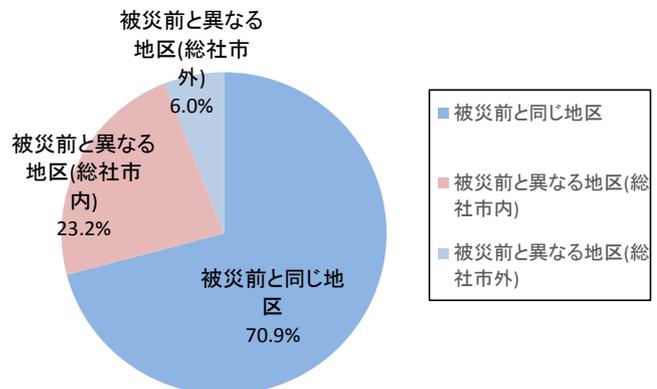
被災した住宅の現在の状況について、「解体せずに、すでに修繕した」と回答された方が最も多く34.2%、次いで「解体せずに、今後修繕する予定」が28.5%となっており、6割以上の方が解体せず修繕すると回答している。



問4 現在のお住まいについて、当てはまるものを1つ選んでください。

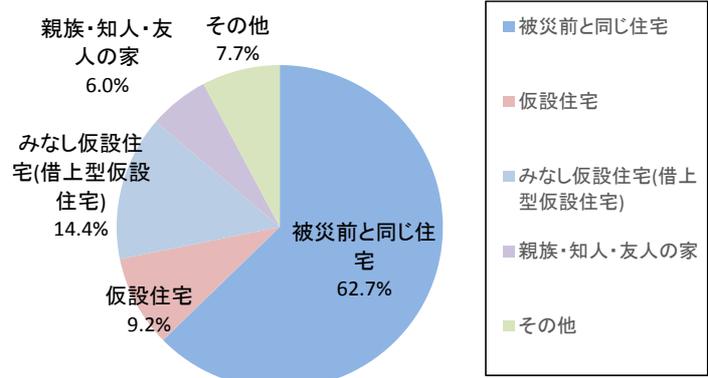
① 地区 (n=285)

回答者のうち、7割以上の方が「被災前と同じ地区」に住まわれている。



② 分類 (n=284)

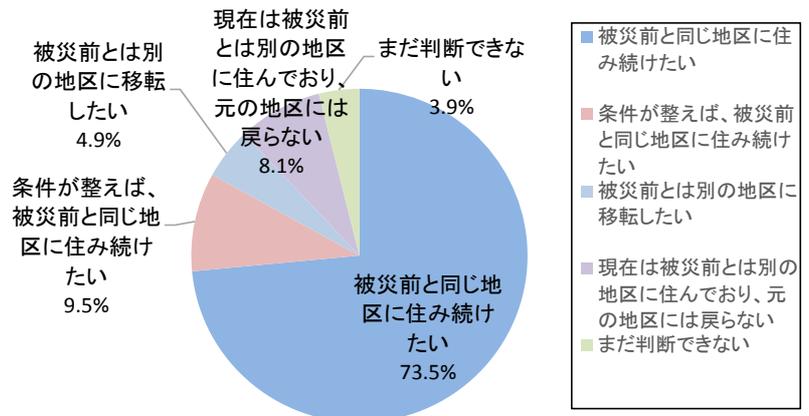
回答者のうち、6割以上の方が「被災前と同じ住宅」にまわられている。



Ⅱ. 今後の生活場所に関するご意向をお伺いします

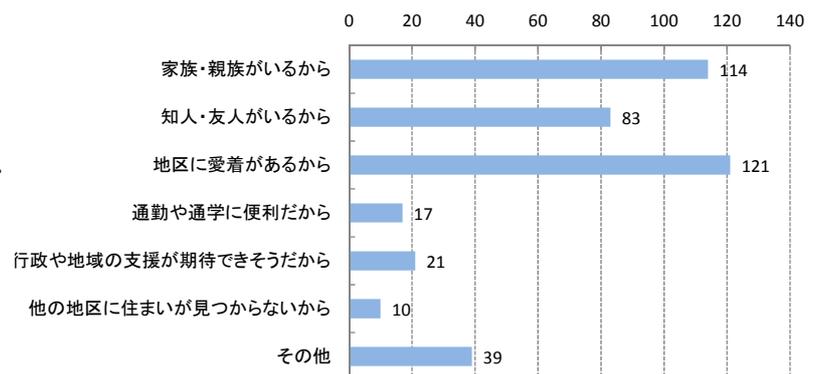
問5 今後の住みたい場所について、当てはまるものを1つ選んでください。(n=283)

回答者のうち、7割以上の方が「被災前と同じ地区に住み続けたい」と回答している。



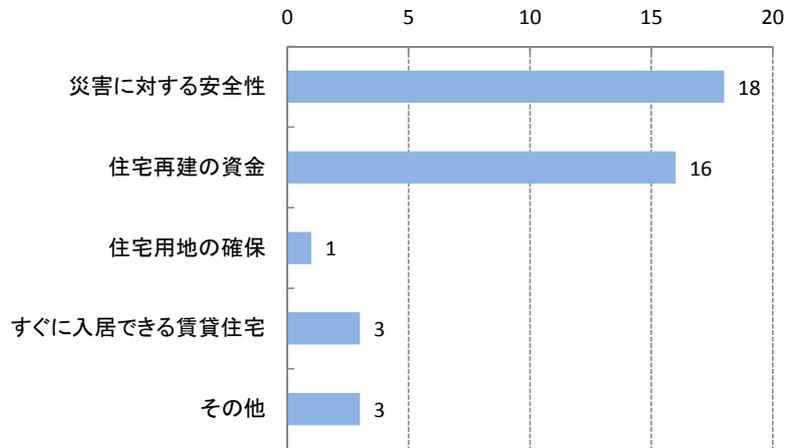
問6 問5で「1. 被災前と同じ地区に住み続けたい」を選択された方へお聞きします。被災前と同じ地区に住み続けたい理由について、当てはまるものを全て選んでください。(n=405)

被災前と同じ地区に住み続けたい理由として、「地区に愛着があるから」が最も多く121件、次いで「家族・親族がいるから」(114件)、「知人・友人がいるから」(83件)となっている。



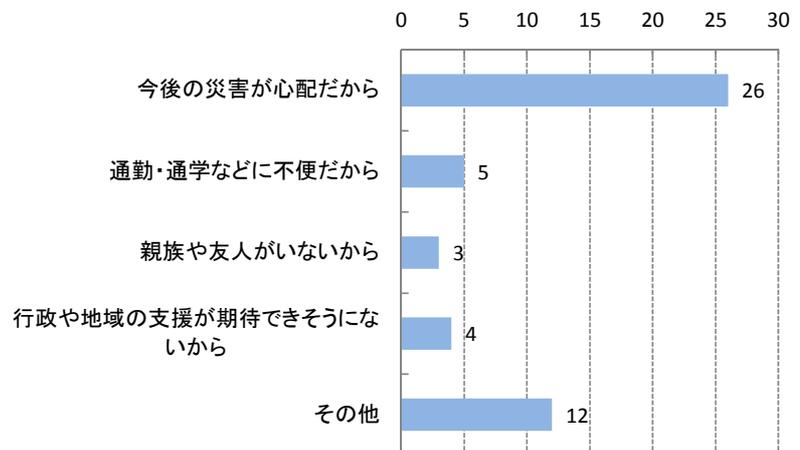
問7 問5で「2. 条件を整えば、被災前と同じ地区に住み続けたい」を選択された方へお聞きします。どのような条件を整えば、被災前と同じ地区に住み続けたいと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。(n=41)

どのような条件を整えば、被災前と同じ地区に住み続けたいと思うかについて、「災害に対する安全性」が最も多く 18 件、次いで「住宅再建の資金」(16 件)となっている。



問8 問5で「3. 被災前とは別の地区に移転したい」または「4. 現在は被災前とは別の地区に住んでおり、元の地区には戻らない」を選択された方へお聞きします。被災前とは別の地区に移転したい、または戻らない理由について、当てはまるものを全て選んでください。(n=50)

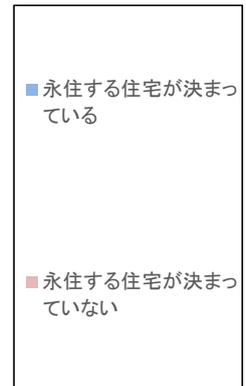
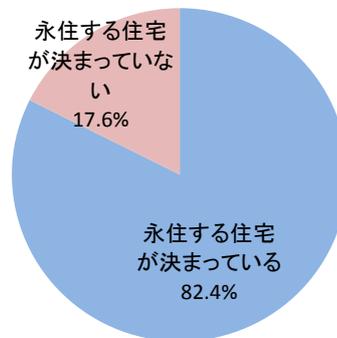
被災前とは別の地区に移転したい、または戻らない理由について、「今後の災害が心配だから」が最も多く 26 件、次いで「その他」(12 件)となっている。



### Ⅲ. 今後のお住まいに関するご意向をお伺いします

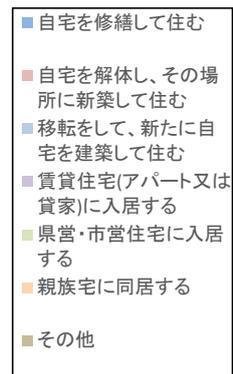
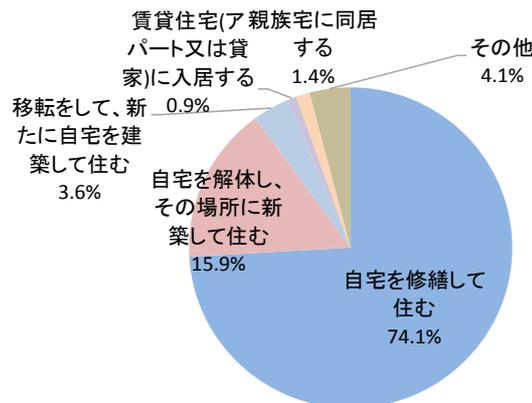
問9 今後、2年後以降にわたって永住するお住まいの確保について、当てはまるものを1つ選んでください。  
(n=267)

回答者のうち、8割以上の方が「永住する住宅が決まっている」と回答している。



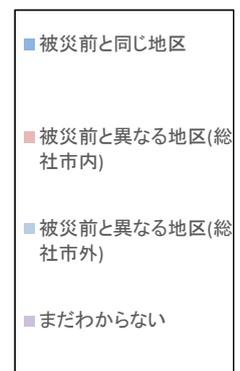
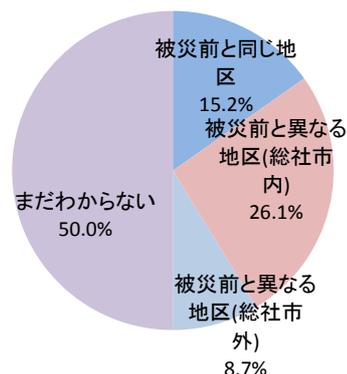
問 10 問9で「1. 永住する住宅が決まっている」を選択された方へお聞きします。その住宅について当てはまるものを1つ選んでください。(n=220)

上記問9で「永住する住宅が決まっている」と回答された方のうち、7割以上の方が「自宅を修繕して住む」と回答している。



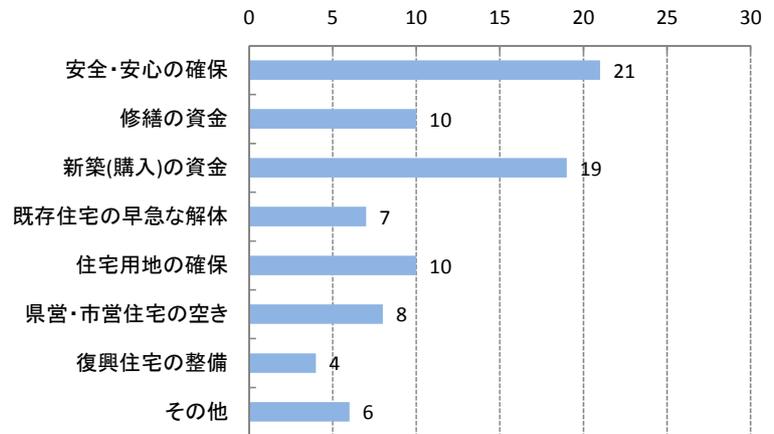
問 11 問9で「2. 永住する住宅が決まっていない」を選択された方へお聞きします。どこの地区への永住を希望しますか。当てはまるものを1つ選んでください。(n=46)

上記問9で「永住する住宅が決まっていない」と回答された方のうち、永住を希望する地区が「まだわからない」と回答された方が最も多く50.0%、次いで「被災前と異なる地区(総社市内)」が26.1%となっている。



問 12 問 9 で「2. 永住する住宅が決まっていない」を選択された方へお聞きします。住宅の確保に向けて、今後どのような条件を整えることが必要ですか。当てはまるものを全て選んでください。(n=85)

住宅の確保に向けて、今後必要な条件について、「安全・安心の確保」が最も多く 21 件、次いで「新築（購入）の資金」（19 件）、「修繕の資金」「住宅用地の確保」（10 件）となっている。



問 13 永住する住宅を確保した後、これまで同居していた世帯全員が一緒に住まわれますか。当てはまるものを1つ選んでください。(n=227)

回答者のうち、永住する住宅を確保した後は、8割以上の方が世帯全員が「一緒に住む」と回答している。

